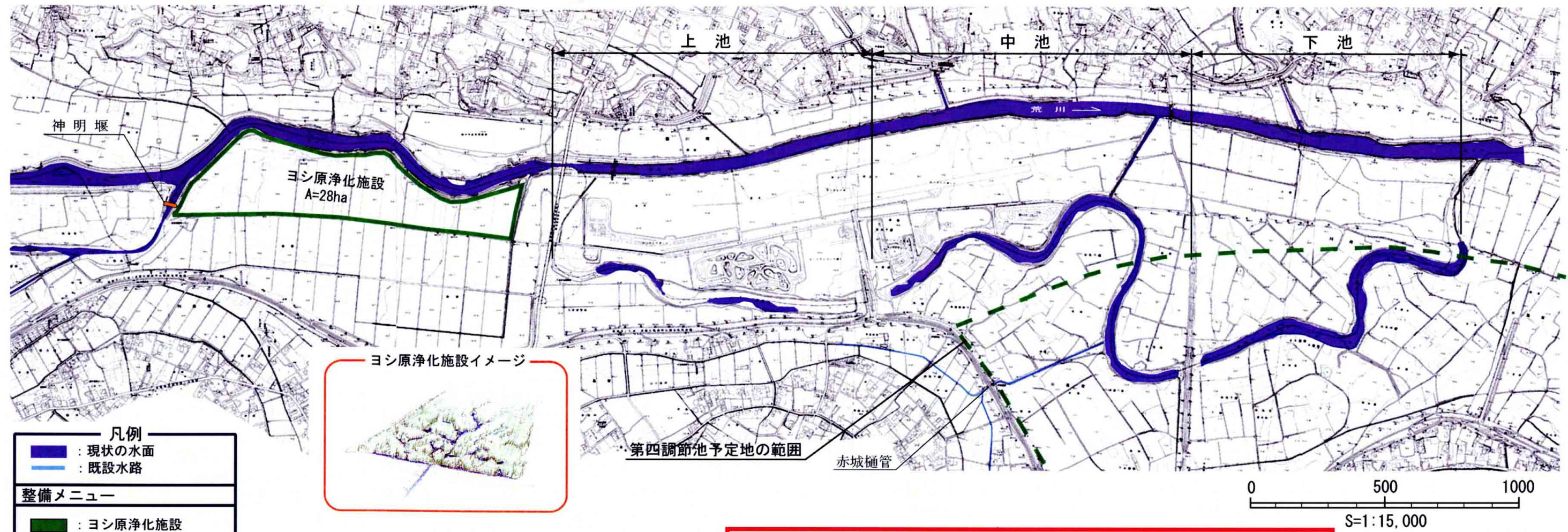


No. 11案 市野川からの導水の浄化 平面図



目的	市野川からの導水を浄化するために、ヨシによる浄化施設を設置する。						
条件	・水量1.0m3/sec ・設計滞留時間8h ・リン除去55%、N除去52%（リン濃度約0.2mg/lを本川と同等の0.1mg/lまで除去する） ・国有地を使う						
工事概要	神明堰付近に、面積28ha、水深0.1mのヨシ浄化施設を設置する。						
維持管理	・ヨシが定着するまでヨシの補植を行う						
工事費	浄化施設工事 (ヨシマット植栽)	細別	単位	数量	単価(円)	金額(千円)	備考
		浄化施設掘削 (28ha)	m ³	1,724,800	600	1,034,880	単価には、機械掘削積み込み、1km以内ダンプ運搬、仮置き場数均し含む。
		ヨシマット植栽	m ²	280,000	10,350	2,898,000	
		諸経費				1,966,440	直接工事費の50%と仮定し、端数を調整。
		工事費合計				5,899,000	
長所	・治水上は問題ない。 ・自然の力による浄化のため、動力を必要としない。 ・新たに湿地としての環境が創出される。						
短所	・広大な(28ha)敷地面積が必要であり、高水敷に水が浸透減水する可能性が高い。 ・安定した浄化は得られない(冬季のヨシ枯死時には浄化能力著しく低下する。) ・出水時の土砂の堆積等に対して、定期的に水面の維持が必要。 ・当該面積が国有地内で得られる最大の面積である。						
備考							

